

むらやま学校統合だより〈GO TO TO-GO〉

第5号



編集・発行  
村山市教育委員会  
学校統合推進室

# 統合タイムズ

新しい年、令和8年（2026年）がスタートしました。統合までのスケジュールも刻一刻と近づいてきます。先に統合される西部地区の開校まで、**カウントダウン820日**となりました。

さて、昨年末の12月23日に「**総合教育会議**」が開催され、これまで「統合準備委員会（東部および西部）」で話し合われてきたことが、「議題」として協議され、話し合いの結果、提案された全ての項目について了解（＝調整）され、「**調整済み案件**」となりました。

なお、この【**総合教育会議**】は、**教育に関する大きな施策や教育関係の重要案件**について、**市長と教育委員会が協議・調整するための会議体**です。

首長の教育行政への関わりと役割を明らかにすることから、平成26年（2014年）に法制化された仕組みです。**実質的に、ここで協議調整されたことが「合意案」として扱われます。**

## TOP INFORMATION (Topics) = 総合教育会議



### 〔写真〕令和7年12月23日（火）開催の総合教育会議 《議題は裏面参照》

～市長と教育長、教育委員4名の計6名が会議メンバーとなり、市長が座長をつとめました～

#### 統成人語

▼今年は無馬年。馬が名前に入る馬は、馬群（ぐんま）があるが由来は「くるま」が由来という。馬の形をした馬が、干支の馬と似た形の上るが、馬と似た形の上るが、山形県の形が「人の横顔」に似ていることはつと有名だ。では男性顔か女性顔か。実は男性と女性両方の見方が可能だ。日本海側から見る男性顔、宮城県側から見る女性顔▼では村山市は何の形に似るだろうか。マウス（鼠）あるいはカピバラか。よく見るとラビッツ（兎）に見えてくる。右を向いた少し太った兎だ。袖崎あたりが二つの耳でアマダス（気象観測装置）がある大久保の飛び地・寄込が足、葉山の山頂あたりがお尻で、東に向かい飛び跳ねているような姿だ。凝視していると、もう兎にしか見えなくなってくる▼今、「ラビッツ」の名を冠したり、イラストにしたりしたコーヒーや地ビールが熱い。これまで市の形をウサギに見立て、商品開発や地域づくり、教育に繋がった事例があったらどうか▼新発想であつたらどうか

の「ラビッツむらやま」戦略は「バラのまち」に代わるブランド化も期待できそう。9年後の「卯年」まで定着と飛躍を期待したい。

# 【表】令和7年 第1回 総合教育会議 議題と協議内容 一覧

※1面の〈TOP INFORMATION〉で取り上げた「総合教育会議」について、内容を表に整理しました。

No	協議議題	主な協議・調整内容
1	<b>村山市の教育の総合的大綱</b> ～首長が定める「教育総合施策大綱」について～	◎「第3次市教育振興計画」の内容が承認されました。 ・「第6次市総合計画」の教育関連事項（＝大綱） ・学校統合に関しては、第3次教育振興計画の「基本方針Ⅵ」の(1)「統合準備委員会及び各作業部会による計画的な取組み」の項で具体的に記載されています。（別途：ホームページ参照）
2	<b>学校統合に伴う諸課題</b>	◎統合準備委員会で話し合われてきたことの内容を詳細に説明し、市長・各委員から了承を得ました。
	<b>(1) 西部地区（葉山中学区）</b> ①葉山学園改修の概要 ②大久保小給食施設改修 ③制服（標準服）の着用学年	◎左記の①～⑤について、いずれも、現時点での内容に関し、承認され、市長と市教育委員会の間での「合意形成」がはかられました。 ①：現在の葉山中を義務教育学校「葉山学園」に改修しますが、その改修案が整いました。 <b>（次々号(第7号)で紹介します。)</b> ②： <b>給食施設（調理室）</b> は現在の大久保小の設備等を利用しつつ葉山学園に運搬する方法とし、そのための必要な改修を行います。 ③：葉山学園では、1～4年生は自由服、5～7年生は「標準服」、8～9年生はブレザー等の指定の「制服」とします。 <b>（詳細は今後も引き続き専門部会・分科会等で協議していきます）</b>
	<b>(2) 東部地区（楯岡中学区）</b> ④統合小学校の学校名称募集 ⑤給食施設の方向性	◎左記の①～⑤について、いずれも、現時点での内容に関し、承認され、市長と市教育委員会の間での「合意形成」がはかられました。 ④：現在の楯岡小校舎を活用する統合校の <b>新しい学校の名称</b> を、新規に「公募」するプロセスを経て決定することとします。 <b>（公募期間は1/15-2/15の1か月間を予定）（次号で紹介）</b> ⑤： <b>給食施設</b> は、現在の楯岡小の施設・設備を活用することとします。
		◎委員からは「地域が好きな子どもに育ててほしい」、「地域を知れば知るほど好きになるので、地域学習に力を入れてほしい」などの意見が出されました。
		なお、各項目についての詳細については、次号以降で順次、報告・紹介いたします。

西部地区

東部地区

## 村山市のカタチ ※1面のコラム参照

